

## フリージア普通栽培の栽植密度が促成栽培用球根生産に及ぼす影響

### 1 背景・目的

エアリーフローラの促成栽培(球根を冷蔵処理するなどして、出荷時期を早める方法)には5g以上の成球が必要であるが、その促成栽培用球根を得るための植え付け密度は明らかでない。そのため、促成栽培用球根を得るために最も適した密度を検討する。

### 2 技術のポイント

- (1) 栽植密度を1万~2万球/a(10cm×10cmに1~2球)とすることで、促成栽培に使用できる5g以上の成球を得られる(図1、図2)。
- (2) 栽植密度を2万球/aとすることで、普通栽培に適する1g以上の球根を3万球/aと同程度に増殖できる(図3)。

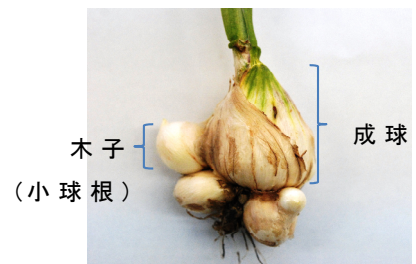
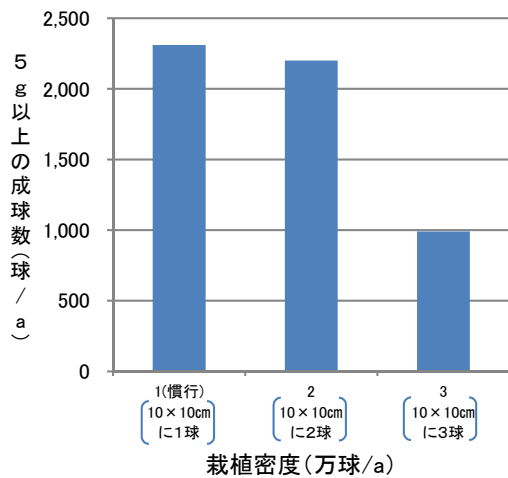


図1 フリージア球根



※ 定植日: 11月5日  
 ※ 球根は1g程度の木子を使用

図2 栽植密度の違いが促成用球根に及ぼす影響

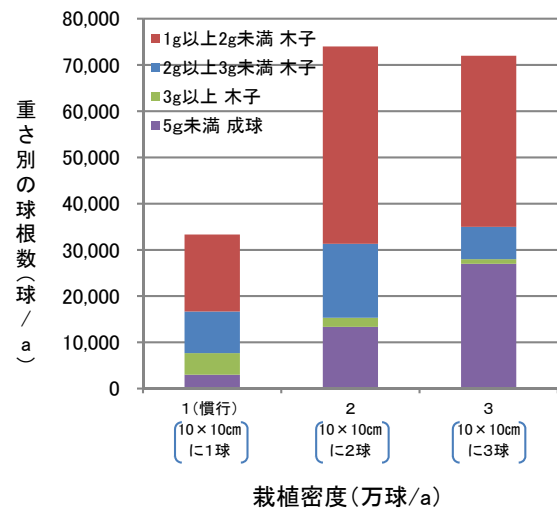


図3 普通栽培に使用できる球根数

### 3 成果の活用と留意点

- (1) 栽植密度を2万球/aとすれば、促成栽培に使用できる成球と普通栽培に適する球根を効率的に得られる。
- (2) 11月上旬定植、枝切収穫をした「石川f4号」の結果であり、得られる球根重については品種間で差が生じる可能性がある。

問合せ先: 園芸栽培グループ TEL 076-257-6911  
 担当者: 平野春菜・村濱 稔